



CHAPTER 9

グループの管理

次の各トピックでは、グループの設定に関する概念とプロセスについて説明します。

- 「[Prime UOM のグループについて](#)」 (P.9-1)
- 「[\[Group Administration and Configuration\] の使用方法](#)」 (P.9-11)

Prime UOM のグループについて

Fault Monitor では、ユーザがデバイスをフィルタリングする手段として、Group Selector が使用されます。グループは、デバイス、アプリケーション、および他のグループで構成されます。各グループにはプロパティ（名前、説明、権限など）のセットが割り当てられます。ただし、グループを定義するのは、そのグループに関連付けられているルールです。グループのメンバシップはルールによって決定されます。メンバシップは、ルールを評価するたびに変化することもあります。

Cisco Prime Unified Operations Manager は、サブグループ化をサポートする階層型でグループを管理します。それぞれの子グループは親グループのサブグループであり、そのグループメンバシップは直接の親グループのサブセットになります。オブジェクトがグループに属するためには、オブジェクトがそのグループのルールと親グループのルールに従っている必要があります。

Prime UOM の Group Selector に何が表示されるかは、使用している機能によって異なります。Prime UOM の Group Selector を表示したときに表示されるグループは、その環境にインストールされている導入のタイプに応じて異なります。図 9-1 (P.9-2) に、Prime UOM のエンタープライズ導入の場合の Group Selector を示します。

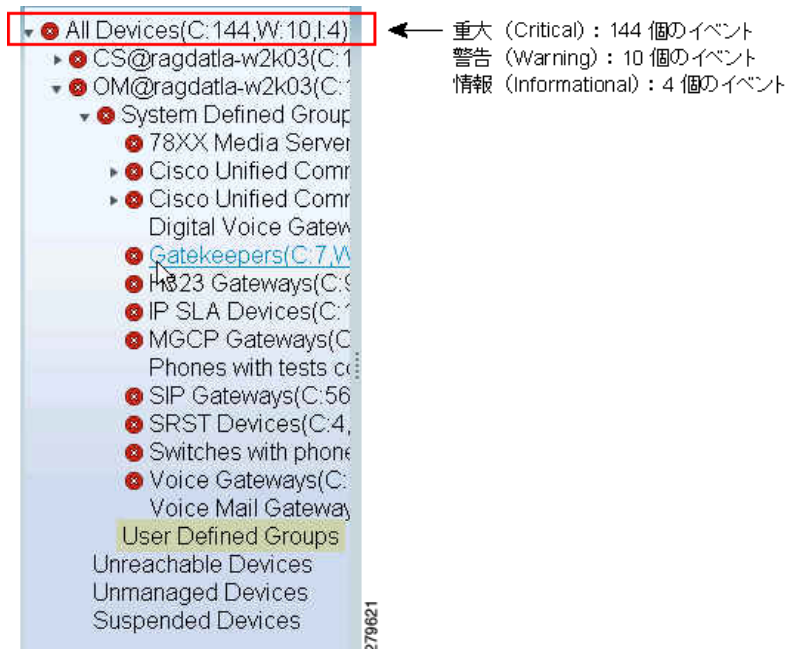
- エンタープライズ導入の場合に限り、Common Services グループは、デバイスが DCR に追加されるときに Common Services によって作成されます。これらはデバイスグループです。デバイスが属するグループは、Common Services グループのルールによって決まります。

Common Services のグループに含まれる Unified Communications デバイスには、ルータ、スイッチ、ハブなどがあります。Common Services のグループはすべて、Prime UOM と共有されます。つまり、Common Services のすべてのグループが、Prime UOM のユーザインターフェイスに表示されます。メンバを持つグループだけが表示されます。

- Prime UOM グループは、Prime UOM によって作成される。デバイスが属するグループは、Prime UOM グループのルールによって決まります。
- マルチエンドカスタマーバージョン導入では、Common Services グループは適用できず、表示もされません。

図 9-1 に、Common Services のグループフォルダは閉じられており、Prime UOM の下のその他のフォルダは開かれた状態の Group Selector を示します。この図では、各デバイスグループのグループ名の横のかわりに、各カテゴリの重大、警告、および情報のイベント数がどのように表示されるかも示しています。

図 9-1 Common Services と Prime UOM のグループが表示されたシングル Customer/Enterprise モードの Group Selector



グループ	説明
CS@<server-name>	Common Services によって制御されているグループ
OM@<server-name>	Prime UOM によって制御されているグループ

図 9-1 に示すように、エンタープライズ導入の Prime UOM では、次のタイプのグループがサポートされています。

- システム定義グループ：Common Services および Prime UOM でのデバイスのデフォルトのグループ分け。システム定義グループは、削除することも編集することもできません。各システム定義グループについては、「システム定義グループの使用」(P.9-3) を参照してください。
- ユーザ定義グループ：ネットワークの管理方法が反映されるように管理者が編集または作成するグループ。管理者は、Prime UOM のユーザ定義グループを編集または作成して、そのグループを他のユーザが表示できるかどうかを指定することができます。ユーザ定義グループには、次のグループが含まれます。
 - アクセス ポート グループ：自分の目的に合わせて編集できる定義済みグループ。詳細については、「ユーザ定義グループの使用」(P.9-10) を参照してください。
 - インターフェイス グループ：自分の目的に合わせて編集できる定義済みグループ。詳細については、「ユーザ定義グループの使用」(P.9-10) を参照してください。
 - トランク ポート グループ：自分の目的に合わせて編集できる定義済みグループ。詳細については、「ユーザ定義グループの使用」(P.9-10) を参照してください。

- ([Fault Monitor] 画面のビューまたは通知サービスの通知グループで使用するために) ユーザが作成するグループ。作成できるグループは、これらのグループだけです。これらのグループは、Group Selector で User Defined Groups の下に表示されるため、グループ メンバシップを確認できます (デバイス グループは、デバイスが Prime UOM インベントリに追加されるときに作成されます)。

グループと ACS

CiscoSecure Access Control Server (ACS) は、Group Administration を使用する Prime UOM の多数のユーザ インターフェイスにおいて、デバイススペースのフィルタリングを行うための機能です。ACS の詳細については、「ACS でのデバイススペースのフィルタリング」(P.20-33) を参照してください。

システム定義グループの使用

Group Selector では、一部のグループは Prime UOM の下に表示され、それ以外のグループは Common Services の下に表示されます。Common Services グループは、デバイスが DCR に追加されるときに Common Services によって作成され、表示可能になります。詳細については、「Common Services のシステム定義グループ」(P.9-9) を参照してください。

Prime UOM グループは、Prime UOM によって作成されます。Prime UOM のグループのリストについては、表 9-1 を参照してください。特定の導入での詳細については、「エンタープライズ グループ」(P.9-3) および「マルチ エンドカスタマー グループ」(P.9-3) を参照してください。

[Administration] > [Polling and Thresholds] を使用して、これらのグループのポーリングとしきい値の設定を制御できます。「ポーリングとしきい値の設定」(P.19-1) を参照してください。

Prime UOM グループ

Prime UOM では、インストールした導入のタイプに応じて次のグループが使用されます。

- 「エンタープライズ グループ」(P.9-3)
- 「マルチ エンドカスタマー グループ」(P.9-3)

エンタープライズ グループ

エンタープライズ導入では、Prime UOM のシステム定義グループは、すべてのユーザが表示可能であり、Prime UOM によって管理されるデフォルト グループです。

表 9-1 に、Prime UOM であらかじめ設定されているグループ (デバイス タイプ) を示します。詳細については、「Prime UOM グループ」(P.9-3) を参照してください。

マルチ エンドカスタマー グループ

マルチ エンドカスタマー グループには、システム定義グループは使用されません。これらのグループは、デバイス作成手順で追加されたカスタマー グループ名に基づいています。カスタマー グループには、そのカスタマー グループ内にある Prime UOM デバイス タイプのグループが含まれます。

表 9-1 に、Prime UOM であらかじめ設定されているグループ (デバイス タイプ) を示します。マルチ カスタマー表示の導入の場合は、カスタマー グループにカスタマー名を追加して、各カスタマーごとにデバイスを追跡することができます。カスタマー名の追加は、Prime UOM にデバイスを追加するときに行えます。詳細については、「マルチ エンドカスタマー グループ」(P.9-8) を参照してください。

表 9-1 Prime UOM エンタープライズ導入用のデバイス タイプに基づいた グループ

グループ名	定義	例
78XX Media Servers	シスコ音声アプリケーションを実行する、シスコによってサポートされている任意のハードウェア プラットフォーム。	次のアプリケーションを実行する Cisco Media Convergence Server <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified Communications Manager • Cisco Emergency Responder • Cisco Customer Response Application • Cisco Unity • Cisco Personal Assistant • (その他)
Access Port Groups <ul style="list-style-type: none"> • 1 GB Ethernet • 10MB-100MB Ethernet • ATM • Others 	ホストに接続されているスイッチ ポート。	任意のスイッチ
Cisco Unified Communications Manager or Cluster	Cisco Unified Communications Manager または Cluster。	-
Cisco Unified Communications Manager または Cluster が 1 つ Prime UOM に追加されると、1 つのグループが自動的に [Cisco Unified Communications Manager or Cluster] フォルダの下に作成されます。 新しいグループ名は、先頭に VE が付きます (たとえば、VE-TEST1-CCM)。 新しいフォルダの下には、次のサブフォルダが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 78XX Media Servers • Digital Voice Gateways • Gatekeepers 	Cisco Unified Communications Manager or Cluster グループのサブグループには、対応する Cisco Unified Communications Manager またはクラスタのインスタンスに関連付けられたすべてのデバイスが含まれます。	-
	クラスタ内の、Cisco Unified Communications Manager を実行するすべてのメディア サーバ。	MCS 78XX ボックス
	Cisco Unified Communications Manager またはクラスタに属している任意の DT-24+ または DE-30+ デバイス。	<ul style="list-style-type: none"> • DT-24+ • DE-30+
	Cisco Unified Communications Manager またはクラスタの登録先であるゲートキーパー。	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco 2600 • Cisco 3640 • Cisco 3660 • Cisco 7200 • (その他)

表 9-1 Prime UOM エンタープライズ導入用のデバイス タイプに基づいた グループ (続き)

グループ名	定義	例
<ul style="list-style-type: none"> Voice Gateways 	Cisco Unified Communications Manager またはクラスタへのゲートウェイとして機能するポート (インターフェイス) を持つ音声ゲートウェイ。	<ul style="list-style-type: none"> VG-200 Catalyst 6000 (T1、E1、または FXS カードを搭載) SIP-Gateway
<ul style="list-style-type: none"> Voice Mail Gateways 	Cisco Unified Communications Manager またはクラスタに属している任意のボイスメールゲートウェイ。	<ul style="list-style-type: none"> DPA-7610 DPA-7639
Cisco Unified Communications Applications [All Cisco Unified Communications Applications] フォルダの下には、次のサブグループが表示されます。	デバイス上で実行される Cisco Unified Communications アプリケーション。	-
<ul style="list-style-type: none"> Cisco Unified Presence 	メディア サーバ上で実行される任意の Cisco Unified Presence Server アプリケーション。	Cisco Unified Presence Servers
<ul style="list-style-type: none"> Communications Manager Business Edition 	メディア サーバ上で実行される任意の Cisco Unified Communications Manager Business Edition アプリケーション。	Cisco Unified Communications Manager Business Edition
<ul style="list-style-type: none"> Communications Manager Express 	クラスタ上で実行される任意の Cisco Unified Communications Manager Express アプリケーション。	Cisco Unified Communications Manager Express
<ul style="list-style-type: none"> Communications Managers 	メディア サーバ上で実行される任意の Cisco Unified Communications Manager アプリケーション。	Cisco Unified Communications Manager
<ul style="list-style-type: none"> Conference Servers 	メディア サーバ上で実行される任意の Cisco 会議サーバ。	Cisco Conference Server
<ul style="list-style-type: none"> Customer Response Applications 	メディア サーバ上で実行される任意の Cisco Customer Response Application (CRA)。	Cisco CRA
<ul style="list-style-type: none"> Customer Voice Portals 	任意の Cisco Unified Customer (CVP) アプリケーション。	Cisco Unified Customer Voice Portal
<ul style="list-style-type: none"> Emergency Responders 	メディア サーバ上で実行される任意の Cisco Emergency Responder。	Cisco Emergency Responder
<ul style="list-style-type: none"> Expert Advisor 	メディア サーバ上で実行される任意の Cisco Expert Advisor。	Cisco Expert Advisor
<ul style="list-style-type: none"> MeetingPlace 	メディア サーバ上で実行される任意の Cisco MeetingPlace。	Cisco MeetingPlace
<ul style="list-style-type: none"> MeetingPlace Express 	メディア サーバ上で実行される任意の Cisco MeetingPlace Express。	Cisco MeetingPlace Express
<ul style="list-style-type: none"> Mobile Advantage 	メディア サーバ上で実行される任意の Mobile Advantage。	Cisco Mobile Advantage
<ul style="list-style-type: none"> Personal Assistants 	メディア サーバ上で実行される任意の Cisco Personal Assistant (PA)。	Cisco PA
<ul style="list-style-type: none"> TelePresence 	任意の TelePresence デバイス。	TelePresence サーバ

表 9-1 Prime UOM エンタープライズ導入用のデバイス タイプに基づいた グループ (続き)

グループ名	定義	例
<ul style="list-style-type: none"> Unified Contact Center Enterprise 	メディア サーバ上で実行される任意の Cisco Unified CCE。	Cisco Unified CCE
<ul style="list-style-type: none"> Unified Presence 	メディア サーバ上で実行される任意の Cisco Unified Presence。	Cisco Unified Presence Server
<ul style="list-style-type: none"> Unity 	メディア サーバ上で実行される任意の Cisco Unity アプリケーション。	Cisco Unity
<ul style="list-style-type: none"> Unity Connection 	メディア サーバ上で実行される任意の Cisco Unity Connection アプリケーション。	Cisco Unity Connection
<ul style="list-style-type: none"> Unity Express 	メディア サーバ上で実行される任意の Cisco Unity Express アプリケーション。	Cisco Unity Express
Customers	マルチ エンドカスタマーバージョン導入では、デバイスを Prime UOM に追加するとき各カスタマー グループを定義できます。エンタープライズ導入では、利用できません。	YourCompanyName
Digital Voice Gateways	任意の DT-24+ デバイスまたは DE-30+ デバイス。	<ul style="list-style-type: none"> DT-24+ DE-30+
Gatekeepers	H323 デバイス (H323 ゲートウェイや Cisco Unified Communications Manager クラスタ間 トランクなど) のためのアドレス変換、帯域幅制御、およびアクセス制御を実行するゲートキーパー。	<ul style="list-style-type: none"> Cisco 2600 Cisco 3640 Cisco 3660 Cisco 7200 (その他)
H323 Gateways	音声ポートを搭載し、H323 ゲートウェイとして設定されている、スイッチ モジュールまたはルータ。	<ul style="list-style-type: none"> Access Gateway Module を搭載した Catalyst 4000 Cisco 1700 Cisco 2600 Cisco 2800 Cisco 3600 Cisco 3700 Cisco 3800 (その他)
IP SLA Devices	Cisco IOS IP SLA (IP SLA) を実行するシスコ デバイス。	IP SLA 対応デバイス

表 9-1 Prime UOM エンタープライズ導入用のデバイス タイプに基づいた グループ (続き)

グループ名	定義	例
Interface Groups <ul style="list-style-type: none"> • 1 GB Ethernet • 10MB-100MB Ethernet • ATM • Backup • Dial-On-Demand • FDDI • ISDN B channel • ISDN D channel • ISDN physical interface • Others • Serial • Token ring 	ネットワークへの論理 (通常はレイヤ 2) 接続を示すデバイス。	任意のホスト、ハブ、ルータ、またはスイッチ
MGCP Gateways	音声ポートを搭載し、MGCP ゲートウェイとして設定されている、スイッチ モジュールまたはルータ。	<ul style="list-style-type: none"> • T1/E1/FXS ポートを搭載した Catalyst 6000 • Cisco 1700 • Cisco 2600 • Cisco 2800 • Cisco 3600 • Cisco 3700 • Cisco 3800 • (その他)
Phones with tests configured	テスト用に設定されている Cisco Unified IP Phone。	<ul style="list-style-type: none"> • 7910 • 7935 • 7960 • 12SP • 30VIP
SRST Devices	Survivable Remote Site Telephony (SRST) 用に設定されているデバイス。	SRST 対応ルータ
Switches with phones connected	Cisco Unified IP Phone が接続されているシスコ スイッチ (スイッチ上のポートを介して接続)。	<ul style="list-style-type: none"> • Catalyst 6000 • Catalyst 3500 XL • Catalyst 4000 • Catalyst 2900 • Catalyst 2950 XL

表 9-1 Prime UOM エンタープライズ導入用のデバイス タイプに基づいた グループ (続き)

グループ名	定義	例
Trunk Port Groups <ul style="list-style-type: none"> • 1 GB Ethernet • 10MB-100MB Ethernet • ATM • Others 	スイッチ、ハブ、またはブリッジに接続されているスイッチ ポート。	任意のスイッチ、ハブ、またはブリッジ
Voice Gateways	音声対応の（音声カードまたは音声ポートを搭載し、IP テレフォニーの動作を支援する機能を持つ）任意のシスコ スイッチまたはシスコ ルータ。	BRI、E&M、FXS、FXO、T1、または E1 のいずれかのポートを搭載したスイッチまたはルータ、あるいはゲートキーパー機能を持つルータ 例 : <ul style="list-style-type: none"> • Cisco 1700 • Cisco 2600 • Cisco 3600 • Cisco 5300 • Cisco 5400 • Cisco 5800 • Cisco 7200 • Cisco 7500 • Cisco VG-200 • Cisco VG-248 • Catalyst 6000 • Catalyst 4000 • Catalyst 3500 • Catalyst 2900 • (その他)
Voice Mail Gateways	IP テレフォニー ボイスメール システムをレガシー ボイスメール システムに接続する任意のデバイス。	<ul style="list-style-type: none"> • DPA-7610 • DPA-7639

マルチ エンドカスタマー グループ

マルチ エンドカスタマー グループは、Group Selector では Customers フォルダの下に置かれています。[Device Add] または [Device Import] を使用して DCR にデバイスを追加するときに、新しいカスタマー グループ名を追加できます。追加された名前は、Customers フォルダの下に表示されます。各カスタマー グループ名の下で、デバイスが Prime UOM のシステム定義グループごとに分けて表示されません。

表 9-1 に、Prime UOM であらかじめ設定されているグループ（デバイス タイプ）を示します。定義済みのグループは、Prime UOM システム定義グループのサブセットで構成されます。

Common Services のシステム定義グループ

Common Services のシステム定義グループは、すべてのユーザが表示可能であり、Common Services によって管理されるデフォルトグループです。グループが Group Selector に表示されるのはデバイスメンバ（つまり、DCR 内にあり、そのグループに属するデバイス）がある場合だけなので、すべてのシステム定義グループが Group Selector に表示されるわけではありません。

次に示すのは、エンタープライズ導入で使用可能な Common Services のシステム定義グループです。

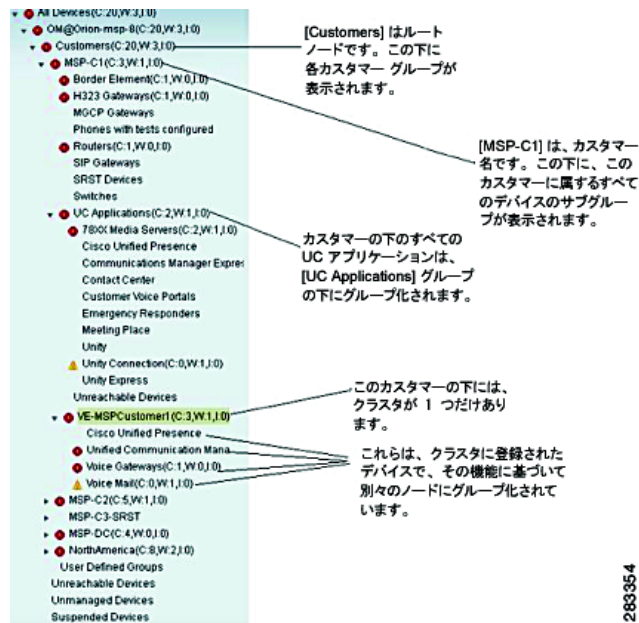
- Content Networking
- DSL and LRE
- Interfaces and Modules
- Network Management*
- Optical
- Routers
- Security and VPN
- Storage Networking
- Switches and Hubs
- TelePresence
- Universal Gateways and Access Servers
- Unknown
- Voice and Telephony
- Wireless

Common Services のシステム定義グループの詳細については、Common Services のオンライン ヘルプ を参照してください。

Prime UOM マルチ エンドカスタマー グループ

マルチ エンドカスタマー バージョン導入では、デバイス構成の手順の中でカスタマー グループを作成します。[Add Devices] または [Import Devices] を使用して、自分で決めた一意のカスタマー グループ名を指定できます。手順の詳細については、「[DCR へのデバイスの追加](#)」(P.8-8) または 「[DCR へのデバイスのインポート](#)」(P.8-14) を参照してください。

図 9-2 マルチ エンドカスタマー グループが表示された Group Selector



新しいカスタマー グループが、Prime UOM によって、Group Selector の Customers フォルダの下に表示されます。これで、Customers フォルダに特定の顧客 フォルダが含まれるようになります。顧客 フォルダの名前は、デバイスが Prime UOM に追加されたときに顧客に指定される、たとえば CustomerXYZ などの名前です。

ユーザ定義グループの使用

システム定義グループのルールは、変更できません。そのため、Prime UOM では、関心のあるデバイス、ポート、またはインターフェイスを含むことができるユーザ定義グループが提供されます。

ポートとインターフェイスの包含は、ポーリングとしきい値の機能だけによって認識され使用されますが（「[ポーリングとしきい値の設定](#)」(P.19-1) を参照）、デバイスが Prime UOM インベントリに追加されるときに、デバイス グループにメンバが追加されます。管理者がグループを編集または作成するときに、そのグループを他のユーザが表示できるかどうかを指定できます。

ユーザ定義グループは、Unified Dashboard (Fault Monitor、Diagnostic ポートレット、および Reports) に表示される表示の基本となります。作成するユーザ定義グループごとに、対応するビューが自動的に作成されます。ユーザ定義グループを作成するには、「[グループの作成と編集](#)」(P.9-12) を参照してください。

デフォルトでは、定義済みのユーザ定義グループにはデバイスが属していません。Access Port、Interface、および Trunk Port の各フォルダに作成されたグループのメンバシップの詳細を表示するには、[Polling and Thresholds] のページに移動する必要があります（「[ポーリングとしきい値の設定](#)」(P.19-1) を参照）。

表 9-2 は、定義済みのユーザ定義グループについて説明しています。

表 9-2 Prime UOM ユーザ定義グループ

グループ名	このグループを使用して監視する対象	このグループに設定できる設定値
Access Port Groups	アクセス ポート	しきい値
Interface Groups	インターフェイス	しきい値
Trunk Ports Groups	トランク ポート	しきい値

[Group Administration and Configuration] の使用方法

エンタープライズの場合だけ、[Group Administration and Configuration] ページで、すべてのグループ管理アクティビティを実行します。[Group Administration and Configuration] ページを開くには、[Administration] > [Device Management] > [Device Configuration] > [Device Groups] を選択します。次の各トピックでは、[Group Administration and Configuration] ページの使用方法について説明します。

- 「グループの作成と編集」 (P.9-12)
- 「グループの詳細の表示」 (P.9-28)
- 「メンバシップの詳細の表示」 (P.9-30)
- 「メンバシップのリフレッシュ」 (P.9-32)
- 「ユーザ定義グループの削除」 (P.9-32)

表 9-3 は、[Group Administration and Configuration] ページのフィールドの説明です。

表 9-3 [Group Administration and Configuration] ページのフィールド

GUI 要素	説明
Group Selector	使用可能なすべてのグループの階層表示。
[Group Info] ペイン	Group Selector から項目を選択すると、[Group Info] ペインに次の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • Group Name : 選択したグループの名前。 • Type : 選択したグループ内にある Unified Communications オブジェクトのタイプ。 • Description : グループのテキスト説明。 • Created By : グループの作成者。 • Last Modified By : グループ設定を最後に編集した人。
[Create] ボタン	グループを作成するための Group Creation Wizard を起動します (「グループの作成」 (P.9-12) を参照)。
[Edit] ボタン	既存のグループを編集するための Group Edit Wizard を起動します (「グループのプロパティの編集」 (P.9-18) を参照)。
[Details] ボタン	[Properties: Details] ページを開きます (「グループの詳細の表示」 (P.9-28) を参照)。

表 9-3 [Group Administration and Configuration] ページのフィールド (続き)

GUI 要素	説明
[Refresh] ボタン	グループのメンバシップをリフレッシュします (「メンバシップのリフレッシュ」(P.9-32) を参照)。
[Delete] ボタン	グループを削除します (「ユーザ定義グループの削除」(P.9-32) を参照)。

グループの作成と編集

エンタープライズ導入の場合だけ、グループの作成と編集のプロセスはよく似ています。

マルチ エンドカスタマー バージョン導入でグループを作成するには、「Prime UOM マルチ エンドカスタマー グループ」(P.9-9) を参照してください。

次の点に注意してください。

- 定義済みのユーザ定義グループ フォルダ ([Access Port Groups]、[Interface Groups]、および [Trunk Port Groups]) に対しては、「編集」だけを行うことができます。つまり、これらのフォルダをデバイス セレクタから削除できません。

これらのフォルダの下にユーザ定義グループを作成した場合は、作成したグループを編集または削除できます (「アクセス ポート グループ、インターフェイス グループ、またはトランク ポート グループの作成」(P.9-15) および 「アクセス ポート グループ、インターフェイス グループ、またはトランク ポート グループの編集」(P.9-21) を参照してください)。

- 他のユーザ定義グループはすべて「作成または編集」できる (たとえば、モニタリング ダッシュボード画面のビューや通知サービスの通知グループで使用するため)。

たとえば、Prime UOM の Group Selector で Prime UOM の [User Defined Groups] の直下に表示される「test」という名前のグループを作成できます (「グループの作成」(P.9-12) および 「グループのプロパティの編集」(P.9-18) を参照してください)。

Prime UOM は、Group Creation Wizard を使用して、グループの作成または編集に必要な手順を案内します。ウィザードの手順は、何を作成するかによって異なります。

たとえば、テンプレートをを使用してグループを作成する手順については、「グループの作成：テンプレートの使用」(P.9-16) を参照してください。

ここでは、次の内容について説明します。

- 「グループの作成」(P.9-12)
- 「アクセス ポート グループ、インターフェイス グループ、またはトランク ポート グループの作成」(P.9-15)
- 「グループの作成：テンプレートの使用」(P.9-16)
- 「グループのプロパティの編集」(P.9-18)
- 「グループのプロパティの編集：テンプレートを使用するグループの場合」(P.9-22)
- 「ルールについて」(P.9-23)
- 「グループ メンバシップの確定」(P.9-27)
- 「グループの要約の表示」(P.9-28)

グループの作成

グループを作成する手順は次のとおりです。

- ステップ 1** [Administration] > [Device Management] > [Device Configuration] > [Device Group] を選択します。
[Group Administration and Configuration] ページが表示されます。
- ステップ 2** Group Selector で、新しいグループが属する親グループを選択します。
[User Defined Groups] フォルダまたは任意のサブフォルダを選択する必要があります。ユーザ定義グループを追加できるのは、[User Defined Groups] フォルダだけです。
- ステップ 3** [Create] をクリックします。
[Properties: Create] ページが表示されます。
- ステップ 4** [Select Group Type] フィールドで、[Rule] オプション ボタンを選択します。
- ステップ 5** 新しいグループのグループ名を入力します。
グループ名には単一引用符、ピリオド、およびバックスラッシュ (¥) は使用できません。
- 既存のグループの属性を新しいグループにコピーしない場合は、に進みます。既存のグループの属性を新しいグループにコピーする場合は、次の手順に従います。
グループ名を除くすべての属性が新しいグループにコピーされます。
- [Select Group] をクリックします。
[Replicate Attributes] ページが表示されます。
 - 属性をコピーするグループを選択します。
 - [OK] をクリックします。
- 親グループ (Group Selector でグループが存在する場所) を変更する場合は、次の手順に従います。
- [Change Parent] をクリックします。
[Select Parent] ページが表示されます。
 - 親グループを選択します。
 - [OK] をクリックします。
- 必要であれば、説明を入力します。
- ステップ 6** グループ メンバシップをどのようにアップデートするかを選択します。
- このグループのメンバシップを自動的にアップデートする場合は、[Automatic] を選択します。
 - [Refresh] ボタンをクリックしたときにだけこのグループのメンバシップをアップデートする場合は、[Only Upon User Request] を選択します。
- ステップ 7** 可視性スコープを選択します。
- Private : 作成したユーザだけが使用可能
 - Public : すべてのユーザが使用可能
- ステップ 8** [Next] をクリックします。
[Rules: Create] ページが表示されます (ルール作成の詳細については、「[ルールについて](#)」(P.9-23) を参照してください)。
次のどちらかを実行します。
- グループに適用するルールを作成する場合は、[ステップ 9](#) に進みます。
 - デバイスを追加するだけの場合は、[Next] をクリックし、[Membership: Create] ページでデバイスを選択します。次に、[ステップ 10](#) に進みます。
- ウィザードで前のページに戻る必要がある場合は、[Back] をクリックします。

ステップ 9 グループに適用するすべてのルールを作成します。

- a. 最初のリストで、論理演算子を選択します。

論理演算子のリストは、少なくとも 1 つのルール式を入力した後にイネーブルになります。

- b. オブジェクトタイプを選択します。

- c. 変数を選択します。

- d. 演算子を選択します。

- e. [Value] フィールドに値を入力します。

- f. [Add Rule Expression] をクリックします。

ルール式が [Rule Text] ボックスに表示されます。

[Rule Text] ボックス内のテキストは、手動で追加または変更できます。単一のバックスラッシュ (¥) を入力すると、エラーが表示されます。

[Rule Text] ボックスに単一のバックスラッシュを入力するには、単一のバックスラッシュの代わりに、バックスラッシュを 2 つ (¥¥) 入力する必要があります。ルール式を変更した後は、必ず構文を確認してください。

複雑なルール (AND 条件と OR 条件の両方を含むルール) を追加した場合、次の例に示すように、手動でカッコを入力する必要があります。

```
(:AccessPort.Mode equals "" OR
:AccessPort.Mode contains "BACKUP" OR
:AccessPort.Mode contains "NORMAL") AND
(:AccessPort.DuplexMode contains "HALFDUPLEX" OR
:AccessPort.DuplexMode contains "FULLDUPLEX")
```

ルールの構文が正しいかどうかを確認するには、[Check Syntax] をクリックします。構文が有効なことを示すダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックします。

親グループに対するルールを表示するには、[View Parent Rules] を選択します。

親グループに割り当てられたルールは、すべてそのサブグループにも適用されます。

- g. [Next] をクリックします。

[Membership: Create] ページが表示されます。

ステップ 10 グループのメンバである Unified Communications オブジェクトを追加または削除できます (ポートグループおよびインターフェイスグループではサポートされていません)。

グループのルールは、そのグループに追加される、またはグループから削除される Unified Communications オブジェクトのリストを表します。これを反映するために、ルールには Includelist セクションと Excludelist セクションのいずれかまたは両方が含まれます。

1 つのルールに Includelist や Excludelist が複数存在していてもかまいませんが、Includelist と Excludelist がそれぞれ 1 つだけになるように統合することを推奨します。両方のリストに含まれる重複がないかどうかを確認し、組み込みと除外の両方に記載されるデバイスがないことを確認します。

一部の IPSLA デバイスは、作成されたグループに属していても、[Unified Communications Objects Matching Membership] カラムに自動的に表示されません。

このようなデバイスは、[Membership: Create] ページの [Unified Communications Objects from Parent Group] カラムから [Unified Communications Objects Matching Membership] カラムに手動で移動する必要があります。

Unified Communications オブジェクトを追加するには、次の手順に従います。

- a. [Unified Communications Objects from Parent Group] カラムで、追加するデバイスを選択します。

- b. [Add] をクリックします。

Unified Communications オブジェクトを削除するには、次の手順に従います。

- a. [Unified Communications Objects Matching Membership] カラムで、削除するデバイスを選択します。
- b. [Remove] をクリックします。

ステップ 11 [Next] をクリックします。

グループの情報が [Summary: Create] ページに表示されます。

ステップ 12 [Finish] をクリックします。

アクセス ポート グループ、インターフェイス グループ、またはトランク ポート グループの作成

アクセス ポート グループ、インターフェイス グループ、またはトランク ポート グループを作成するには、次の手順に従います。

ステップ 1 [Administration] > [Device Management] > [Device Configuration] > [Device Group] を選択します。

[Group Administration and Configuration] ページが表示されます。

ステップ 2 Group Selector で、新しいグループが属する親グループを選択します。

[Access Port Groups]、[Interface Groups]、または [Trunk Port Groups] のいずれかのフォルダを選択する必要があります。

ステップ 3 [Create] をクリックします。

[Properties: Create] ページが表示されます。

ステップ 4 新しいグループのグループ名を入力します。

グループ名を入力するときに使用できる特殊文字は、ピリオド、アンダースコア、およびダッシュだけです。

既存のグループの属性を新しいグループにコピーしない場合は、に進みます。既存のグループの属性を新しいグループにコピーする場合は、次の手順に従います。

グループ名を除くすべての属性が新しいグループにコピーされます。

- a. [Select Group] をクリックします。
[Replicate Attributes] ページが表示されます。
- b. 属性をコピーするグループを選択します。
- c. [OK] をクリックします。

親グループ (Group Selector でグループが存在する場所) を変更する場合は、次の手順に従います。

- a. [Change Parent] をクリックします。
[Select Parent] ページが表示されます。
- b. 親グループを選択します。
- c. [OK] をクリックします。

必要であれば、説明を入力します。

ステップ 5 可視性スコープを選択します。

- Private : 作成したユーザだけが使用可能

- Public : すべてのユーザが使用可能

ステップ 6 [Next] をクリックします。

[Rules: Create] ページが表示されます (ルール作成の詳細については、「[ルールについて](#)」(P.9-23) を参照してください)。

ウィザードで前のページに戻る必要がある場合は、[Back] をクリックします。

ステップ 7 グループに適用するすべてのルールを作成します。

a. 最初のリストで、論理演算子を選択します。

論理演算子のリストは、少なくとも 1 つのルール式を入力した後でイネーブルになります。

b. オブジェクトタイプを選択します。

選択肢は 1 つだけです。これは、どの親グループを [ステップ 2](#) で選択したかによって決まります。

c. 変数を選択します。

d. 演算子を選択します。

e. [Value] フィールドに値を入力します。

f. [Add Rule Expression] をクリックします。

ルール式が [Rule Text] ボックスに表示されます。

[Rule Text] ボックス内のテキストは、手動で追加または変更できます。単一のバックスラッシュ (¥) を入力すると、エラーが表示されます。

[Rule Text] ボックスに単一のバックスラッシュを入力するには、単一のバックスラッシュの代わりに、バックスラッシュを 2 つ (¥¥) 入力する必要があります。ルール式を変更した後は、必ず構文を確認してください。

複雑なルール (AND 条件と OR 条件の両方を含むルール) を追加した場合、次の例に示すように、手動でカッコを入力する必要があります。

```
(:AccessPort.Mode equals "" OR
:AccessPort.Mode contains "BACKUP" OR
:AccessPort.Mode contains "NORMAL") AND
(:AccessPort.DuplexMode contains "HALFDUPLEX" OR
:AccessPort.DuplexMode contains "FULLDUPLEX")
```

ルールの構文が正しいかどうかを確認するには、[Check Syntax] をクリックします。構文が有効なことを示すダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックします。

親グループに対するルールを表示するには、[View Parent Rules] を選択します。

親グループに割り当てられたルールは、すべてそのサブグループにも適用されます。

g. [Next] をクリックします。

グループの情報が [Summary: Create] ページに表示されます。

ステップ 8 [Finish] をクリックします。

グループの作成 : テンプレートの使用

グループを簡単に作成できるように、Prime UOM ではグループ作成のためのテンプレートが用意されています。作成したグループは、Group Selector では必ず [User Defined Groups] フォルダの下に表示されます。



(注)

テンプレートを使用して作成されるグループは、そのテンプレートの 1 つの属性だけに基づいて作成されます。複数の属性を使用してグループを作成する場合は、ルールを作成する必要があります。「[グループの作成](#)」(P.9-12) を参照してください。

Prime UOM に用意されているテンプレートは次のとおりです。

- ロケーションベース：デバイスのロケーションに基づいてグループを作成します。Group Creation Wizard で、ロケーションをカンマで区切って入力します。指定されたロケーションにあるすべてのデバイスがグループに表示されます。
- 名前ベース：デバイス名に基づいてグループを作成します。Group Creation Wizard で、デバイス名をカンマで区切って入力します。指定された名前のすべてのデバイスがグループに表示されます。
- サブネットベース：デバイスのサブネットに基づいてグループを作成します。Group Creation Wizard で、サブネットをカンマで区切って入力します。指定されたサブネット内のすべてのデバイスがグループに表示されます。
- サービスベース：デバイスが実行するサービスのタイプに基づいてグループを作成します。Group Creation Wizard で、デバイス サービスをカンマで区切って入力します。指定されたサービスを実行するすべてのデバイスがグループに表示されます。

サービスに基づいてグループを作成するときに入力できるサービスは、あらかじめ決められています。次に示すサービスだけが使用可能です。



(注) サービス名は、このリストに表示されているとおりに入力する必要があります。

- callmanager
- IPSLA
- callmanager express
- unity express
- unity connection
- emergency responder
- unity
- SRST
- gatekeeper
- h323
- mgcp
- Unified CCE

- ステップ 1** [Administration] > [Device Management] > [Device Configuration] > [Device Group] を選択します。
[Group Administration and Configuration] ページが表示されます。
- ステップ 2** Group Selector で、新しいグループが属する親グループを選択します。
[User Defined Groups] フォルダまたは任意のサブフォルダを選択する必要があります。ユーザ定義グループを追加できるのは、[User Defined Groups] フォルダだけです。
- ステップ 3** [Create] をクリックします。

[Properties: Create] ページが表示されます。

ステップ 4 [Select Group Type] フィールドで、[Template] オプション ボタンを選択します。

ステップ 5 新しいグループのグループ名を入力します。

グループ名を入力するときに使用できる特殊文字は、ピリオド、アンダースコア、およびダッシュだけです。

親グループ（Group Selector でグループが存在する場所）を変更する場合は、次の手順に従います。

a. [Change Parent] をクリックします。

[Select Parent] ページが表示されます。

b. 親グループを選択します。

c. [OK] をクリックします。

必要であれば、説明を入力します。

ステップ 6 グループ メンバシップをどのようにアップデートするかを選択します。

- このグループのメンバシップを自動的にアップデートする場合は、[Automatic] を選択します。
- [Refresh] ボタンをクリックしたときにだけこのグループのメンバシップをアップデートする場合は、[Only Upon User Request] を選択します。

ステップ 7 可視性スコープを選択します。

- Private : 作成したユーザだけが使用可能
- Public : すべてのユーザが使用可能

ステップ 8 [Next] をクリックします。

[Templates: Create] ページが表示されます。

ステップ 9 [Template Name] フィールドで、グループ選択のベースとするテンプレートを選択します。

必要であれば、説明を入力します。

ステップ 10 [List of Values] フィールドに、フィルタリングに使用する値を入力します。

たとえば、名前ベースのテンプレートを選択した場合は、デバイス名のリストを入力できます。

ワイルドカードはサポートされていません。また、フィルタリングに使用される演算子は「contains」です。たとえば、*test* と入力すると、デバイス名の中の任意の位置に *test* が含まれるデバイスがすべて表示されます。

ステップ 11 [Next] をクリックします。

[Membership: Create] ページが表示されます。グループのメンバを表示できますが、変更はできません。

ステップ 12 [Next] をクリックします。

グループの情報が [Summary: Create] ページに表示されます。

ステップ 13 [Finish] をクリックします。

グループのプロパティの編集

グループのプロパティを編集するには、次の手順に従います。

ステップ 1 [Administration] > [Device Management] > [Device Configuration] > [Device Group] を選択します。

[Group Administration and Configuration] ページが表示されます。

ステップ 2 Group Selector で編集するグループを選択します。

ステップ 3 [Edit] をクリックします。

[Properties: Edit] ページが表示されます。

ステップ 4 [Properties: Edit] ページで次の項目を編集できます。

- Group Name

グループ名を入力するときに使用できる特殊文字は、ピリオド、アンダースコア、およびダッシュだけです。

- Description

- Membership Update タイプ (ポート グループおよびインターフェイス グループではサポートされない)

- Visibility Scope



(注) 親グループは表示されますが、編集できません。

ステップ 5 [Next] をクリックします。

[Rules: Edit] ページが表示されます。ルール作成の詳細については、「[ルールについて](#)」(P.9-23) を参照してください。

ウィザードで前のページに戻る必要がある場合は、[Back] をクリックします。

ステップ 6 [Rules: Edit] ページでは、新しいルールを追加したり、既存のルールを削除できます。

新しいルールを追加するには、次の手順に従います。

a. 最初のリストで、論理演算子を選択します。



(注) 論理演算子のリストは、少なくとも 1 つのルール式を入力した後でイネーブルになります。

b. [Object Type] リストからオブジェクト タイプを選択します。

c. [Variable] リストから変数を選択します。

d. [Operator] リストから演算子を選択します。

e. [Value] フィールドに値を入力します。

f. [Add Rule Expression] をクリックします。

ルール式が [Rule Text] ボックスに表示されます。

[Rule Text] ボックス内のテキストは、手動で追加または変更できます。単一のバックスラッシュ (¥) を入力すると、エラーが表示されます。

[Rule Text] ボックスに単一のバックスラッシュを入力するには、単一のバックスラッシュの代わりに、バックスラッシュを 2 つ (¥¥) 入力する必要があります。ルール式を変更した後は、必ず構文を確認してください。

g. 複雑なルール (AND 条件と OR 条件の両方を含むルール) を追加した場合、次の例に示すように、手動でカッコを入力する必要があります。

```
(:AccessPort.Mode equals "" OR
:AccessPort.Mode contains "BACKUP" OR
:AccessPort.Mode contains "NORMAL") AND
(:AccessPort.DuplexMode contains "HALFDUPLEX" OR
:AccessPort.DuplexMode contains "FULLDUPLEX")
```

- h. ルールの構文が正しいかどうかを確認するには、[Check Syntax] をクリックします。構文が有効なことを示すダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックします。
- i. 親グループに対するルールを表示するには、[View Parent Rules] を選択します。
親グループに割り当てられたルールは、すべてそのサブグループにも適用されます。
- j. [Next] をクリックします。

[Membership: Edit] ページが表示されます。

ルールを削除するには、次の手順に従います。

- a. [Rule Text] ボックスでルール テキスト全体を選択して Delete キーを押します。
ルールを削除したら、論理演算子のリストを削除してページをリフレッシュできるように、ページをクリックする必要があります。
- b. [Next] をクリックします。

[Membership: Edit] ページが表示されます。

グループのメンバである Unified Communications オブジェクトを追加または削除できます (ポートグループおよびインターフェイスグループではサポートされていません)。

グループのルールは、そのグループに追加される、またはグループから削除される Unified Communications オブジェクトのリストを表します。これを反映するために、ルールには Includelist セクションと Excludelist セクションのいずれかまたは両方があります。

1 つのルールに Includelist や Excludelist が複数存在していてもかまいませんが、Includelist と Excludelist がそれぞれ 1 つだけになるように統合することを推奨します。両方のリストに含まれる重複がないかどうかを確認し、組み込みと除外の両方に記載されるデバイスがないことを確認します。

一部の IPSLA デバイスは、作成されたグループに属していても、[Unified Communications Objects Matching Membership] カラムに自動的に表示されません。

このようなデバイスは、[Membership: Create] ページの [Unified Communications Objects from Parent Group] カラムから [Unified Communications Objects Matching Membership] カラムに手で移動する必要があります。

Unified Communications オブジェクトを追加するには、次の手順に従います。

- a. [Available Unified Communications s from Parent Group] カラムで、追加するデバイスを選択します。
- b. [Add] をクリックします。

Unified Communications オブジェクトを削除するには、次の手順に従います。

- a. [Unified Communications s Matching Membership Criteria] カラムで、削除するデバイスを選択します。
- b. [Remove] をクリックします。

ステップ 7 [Next] をクリックします。

グループの情報が [Summary: Edit] ページに表示されます。

ステップ 8 [Finish] をクリックします。

アクセス ポート グループ、インターフェイス グループ、またはトランク ポート グループの編集

アクセス ポート グループ、インターフェイス グループ、またはトランク ポート グループを編集するには、次の手順に従います。

- ステップ 1** [Administration] > [Device Management] > [Device Configuration] > [Device Group] を選択します。[Group Administration and Configuration] ページが表示されます。
- ステップ 2** Group Selector で、編集するアクセス ポート グループ、インターフェイス グループ、またはトランク ポート グループを選択します。
- ステップ 3** [Edit] をクリックします。[Properties: Edit] ページが表示されます。
- ステップ 4** [Properties: Edit] ページで次の項目を編集できます。
- Description
 - Visibility Scope
- ステップ 5** [Next] をクリックします。
- [Rules: Edit] ページが表示されます。(ルール作成の詳細については、「[ルールについて](#)」(P.9-23)を参照してください)。
- ウィザードで前のページに戻る必要がある場合は、[Back] をクリックします。
- ステップ 6** [Rules: Edit] ページでは、新しいルールを追加したり、既存のルールを削除できます。新しいルールを追加するには、次の手順に従います。
- a. 最初のリストで、論理演算子を選択します。
論理演算子のリストは、少なくとも 1 つのルール式を入力した後でイネーブルになります。
 - b. [Object Type] リストからオブジェクト タイプを選択します。
 - c. [Variable] リストから変数を選択します。
 - d. [Operator] リストから演算子を選択します。
 - e. [Value] フィールドに値を入力します。
 - f. [Add Rule Expression] をクリックします。
ルール式が [Rule Text] ボックスに表示されます。
- [Rule Text] ボックス内のテキストは、手動で追加または変更できます。単一のバックスラッシュ (¥) を入力すると、エラーが表示されます。
- [Rule Text] ボックスに単一のバックスラッシュを入力するには、単一のバックスラッシュの代わりに、バックスラッシュを 2 つ (¥¥) 入力する必要があります。ルール式を変更した後は、必ず構文を確認してください。
- 複雑なルール (AND 条件と OR 条件の両方を含むルール) を追加した場合、次の例に示すように、手動でカッコを入力する必要があります。
- ```
(:AccessPort.Mode equals "" OR
:AccessPort.Mode contains "BACKUP" OR
:AccessPort.Mode contains "NORMAL") AND
(:AccessPort.DuplexMode contains "HALFDUPLEX" OR
:AccessPort.DuplexMode contains "FULLDUPLEX")
```
- ルールの構文が正しいかどうかを確認するには、[Check Syntax] をクリックします。構文が有効なことを示すダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックします。
- 親グループに対するルールを表示するには、[View Parent Rules] を選択します。

親グループに割り当てられたルールは、すべてそのサブグループにも適用されます。

g. [Next] をクリックします。

[Membership: Edit] ページが表示されます。

ルールを削除するには、次の手順に従います。

a. [Rule Text] ボックスでルール テキスト全体を選択して **Delete** キーを押します。

ルールを削除したら、論理演算子のリストを削除してページをリフレッシュできるように、ページをクリックする必要があります。

b. [Next] をクリックします。

グループの情報が [Summary: Edit] ページに表示されます。

**ステップ 7** [Finish] をクリックします。

## グループのプロパティの編集：テンプレートを使用するグループの場合

テンプレートを使用するグループのプロパティを編集するには、次の手順に従います。

**ステップ 1** [Administration] > [Device Management] > [Device Configuration] > [Device Group] を選択します。

[Group Administration and Configuration] ページが表示されます。

**ステップ 2** Group Selector で編集するグループを選択します。

**ステップ 3** [Edit] をクリックします。

[Properties: Edit] ページが表示されます。

**ステップ 4** [Properties: Edit] ページで次の項目を編集できます。

- Group Name  
グループ名を入力するときに使用できる特殊文字は、ピリオド、アンダースコア、およびダッシュだけです。
- Description
- Membership Update タイプ（ポート グループおよびインターフェイス グループではサポートされない）
- Visibility Scope  
親グループは表示されますが、編集できません。

**ステップ 5** [Next] をクリックします。

[Templates] ページが表示されます。

**ステップ 6** [Templates] ページで次の項目を変更できます。

- Template
- Description
- List of Values

**ステップ 7** [Next] をクリックします。

[Membership: Edit] ページが表示されます。グループのメンバを表示できますが、変更はできません。

**ステップ 8** [Next] をクリックします。

グループの情報が [Summary: Edit] ページに表示されます。

**ステップ 9** [Finish] をクリックします。

## ルールについて

各グループは、ルールのセットによって定義されます。ルールのセットは、個々のルール式をブール形式で組み合わせたものです。

ルールを作成すると、フィルタリングによって、グループに入りたいオブジェクトをグループに含め、グループに入れたくないオブジェクトを除外することができます。どの Unified Communications オブジェクトがグループに属するかを Group Management が決定するときに、オブジェクトの情報がルールと比較されます。Unified Communications オブジェクトの情報がルールの要件をすべて満たしている場合は、そのオブジェクトはグループのメンバとなります。

ここでは、次の内容について説明します。

- 「[Value] フィールドに入力する値について」 (P.9-26)
- 「ルールの例」 (P.9-27)

1 つまたは複数のルール式を適用してルールを作成できます。

各ルール式は、次の要素で構成されます。

*オブジェクトのタイプ. 変数の演算値*

例：

```
:Gatekeeper.Cisco_CommunicationManager_or_Cluster.Name equals "ccm test1"
```

ルールは、Group Creation Wizard の [Rules: Create] ページで定義します。

次の要素を定義できます。

- **OR、AND、EXCLUDE**：論理演算子。このフィールドは、[Rule Text] ボックスにルール式を追加した後に表示されます。
  - **OR**：どちらかのルールの要件を満たすデバイスが含まれます。
  - **AND**：両方のルールの要件を満たすデバイスだけが含まれます。  
AND 演算子を使用する場合は、ルール式に異なるタイプのデバイスを含めることはできません。たとえば、次のルール式で AND 演算子を使用できません。

```
:Gatekeeper
:MediaServer
```

この例では、OR 演算子を使用する必要があります。

- **EXCLUDE**：指定されたデバイスを除外します。
- **Object Type**：グループの作成に使用するオブジェクトのタイプ。オブジェクトは、すべてのデバイス、グループ、またはデバイスのタイプです。

[Object Type] フィールドには、次の選択肢が表示されます。

- AccessPort
- Device
- CUE
- DigitalVoiceGateway
- Gatekeeper

- Unified CCE
  - MediaServer
  - PhoneAccessSwitch
  - VoiceGateway
  - VoiceMailGateway
  - Interfaces
  - PRPhone
  - SRSTDevice
  - TrunkPort
- **Variable** : 選択したオブジェクト タイプの属性のうち、ルールに使用するもの。指定可能な変数のリストは、選択したオブジェクト タイプによって異なります。
  - **Operator** : ルールに使用する演算子。指定可能な演算子のリストは、選択したオブジェクト タイプと変数によって異なります。  
*equals* 演算子を使用する場合、ルールでは大文字と小文字が区別されます。
  - **Value** : ルール式の値。指定可能な値は、選択したオブジェクト タイプ、変数、および演算子によって異なります。選択した演算子に応じて、自由形式のテキストまたは値のリストを指定できます。

デバイス (Object Types) の中には、特定の属性 (Variable) が存在せず、その属性を使用してグループ化できないものもあります。表 9-4 は、そのようなデバイスと属性の一覧です。

表 9-4 デバイスとグループ化に使用できない属性

| デバイス (Object Type)  | 属性 (Variable)                                                                                                                                      |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| DigitalVoiceGateway | <ul style="list-style-type: none"> <li>• IP.Address</li> <li>• IP.Netmask</li> <li>• Location</li> <li>• Type</li> <li>• SystemObjectID</li> </ul> |
| 右記の属性を持つ任意のデバイス     | <ul style="list-style-type: none"> <li>• VoiceInterface.Type</li> <li>• VoicePort.Type</li> </ul>                                                  |



(注) ルールを定義した後、構文を確認する必要があります。これは、[Rules: Create] ページで行うことができます。

図 9-3 は、[Rules: Create] ページの例です。



図 9-3 [Rules: Create] ページ

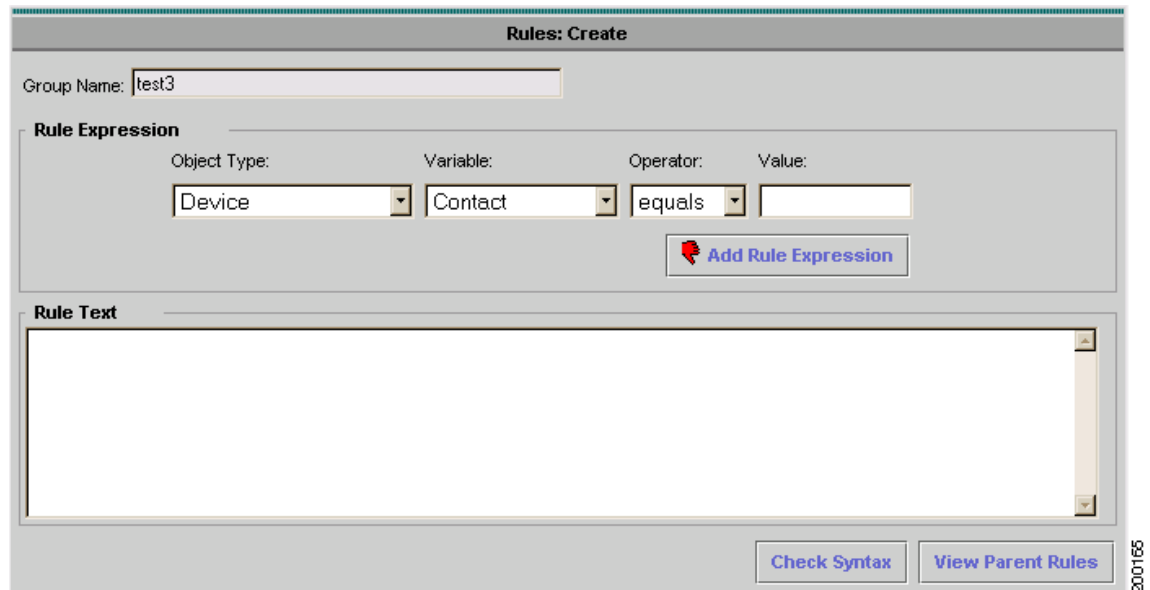


表 9-5 は、Group Creation Wizard の [Rules: Create] ページのフィールドの説明です。

表 9-5 [Rules: Create] ページのフィールド

| GUI 要素                                   | 説明                                                                                                                                                                                                                           |
|------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| [OR]、[AND]、<br>[EXCLUDE] ドロップダ<br>ウン リスト | 論理演算子。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>• OR : どちらかのルールの要件を満たすデバイスが含まれます。</li> <li>• AND : 両方のルールの要件を満たすデバイスだけが含まれます。</li> <li>• EXCLUDE : 指定されたデバイスを除外します。</li> </ul> このフィールドは、[Rule Text] ボックスにルール式を追加した後に表示されます。 |
| [Object Type] ドロップ<br>ダウン リスト            | グループの作成に使用するオブジェクトのタイプ。                                                                                                                                                                                                      |
| [Variable] ドロップダ<br>ウン リスト               | 選択したオブジェクト タイプの属性のうち、ルールに使用するもの。                                                                                                                                                                                             |
| [Operator] ドロップダ<br>ウン リスト               | ルールに使用する演算子。                                                                                                                                                                                                                 |
| [Value] フィールド                            | ルール式の値。                                                                                                                                                                                                                      |
| [Add Rule Expression]<br>ボタン             | ルール式をグループ ルールに追加する場合に使用します。                                                                                                                                                                                                  |
| [Rule Text] フィールド                        | ルールを表示します。                                                                                                                                                                                                                   |
| [Check Syntax] ボタン                       | ルールの構文が正しいかどうか確認します。                                                                                                                                                                                                         |
| [View Parent Rules] ボ<br>タン              | 親グループのルールを表示するために使用します。<br>親グループのルールはすべてサブグループに適用されます。                                                                                                                                                                       |

## [Value] フィールドに入力する値について

[Rules: Create] ページの [Value] フィールドに入力できる値のほとんどは自明ですが、[Variable] フィールド内の Unified Communications オブジェクトの中には、[Value] フィールドに入力される属性に関して特別な意味や制限を持つものがあります。

表 9-6 は、[Rules: Create] ページの [Variable] フィールドに表示される Unified Communications オブジェクトのうち、詳しい説明が必要なものの一覧です。

表 9-6 特別な変数の説明

| 変数                                         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|--------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Cisco_CommunicationManager_Or_Cluster.Name | <p>デバイスが属しているクラスタの名前。クラスタの名前を見つけるには、[Group Configuration] ページを開き、[Cisco_CommunicationManager_Or_Cluster] グループを選択します。</p> <p>クラスタ グループ名のリストが表示されます。</p> <p>[Rules: Create] ページの [Value] フィールドで、これらの名前を使用します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                            |
| Type                                       | <p>デバイスが実行できる機能。</p> <p>[Rules: Create] ページの [Value] フィールドで、次のデバイスに対応する値を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• MediaServer : MediaServer</li> <li>• VoiceMailGateway : VoiceMailGateway</li> <li>• PhoneAccessSwitch : SWITCH または ROUTER</li> <li>• VoiceGateway : SWITCH、ROUTER、または VG248</li> <li>• Gatekeeper : ROUTER、SWITCH</li> <li>• Router : ROUTER</li> <li>• Switch : SWITCH</li> </ul> <p>ルールで <i>equals</i> 演算子を使用する場合は、上記の通りに正確に値を入力してください。</p> |
| ClassName                                  | <p>[Rules: Create] ページの [Value] フィールドでは、次に示す対応する値を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• VoiceGateway : VoiceGateway</li> <li>• MediaServer : MediaServer</li> <li>• VoiceMailGateway : VoiceMailGateway</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                           |
| Interfaces                                 | <p>[Rules: Create] ページの [Value] フィールドでは、次に示す対応する値を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• LAPD</li> <li>• DS1</li> <li>• FXS/FXO</li> <li>• FXS/FXO,DS1</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

## ルールの例

### 例 1

vegas クラスタ内のすべてのメディア サーバを含むグループを作成する場合は、次のルールを作成します。

```
:MediaServer.Cisco_CommunicationManager_or_Cluster.Name contains "VEGAS"
```

- Object Type : MediaServer
- Variable : Cisco\_CommunicationManager\_or\_Cluster.Name
- Operator : contains
- Value : "VEGAS"

### 例 2

IP アドレスの中に 172 という数値が入っているすべての音声ゲートウェイを含むグループを作成します。

```
:VoiceGateway.IP.Address contains "172"
```

- Object Type : VoiceGateway
- Variable : IP.Address
- Operator : contains
- Value : "172"

### 例 3

San Jose ロケーションのすべての電話アクセス スイッチを含むグループを作成します。

```
:PhoneAccessSwitch.Location equals "San Jose"
```

- Object Type : PhoneAccessSwitch
- Variable : Location
- Operator : equals
- Value : "San Jose"



(注)

グループルールをよく理解するために、システム定義グループに使用されるルールを参照できます。このルールは、[Properties: Details] ページに表示されます。[Properties: Details] ページについては、「[グループの詳細の表示](#)」(P.9-28) を参照してください。

## グループ メンバシップの確定

グループルールを定義すると、そのルールが評価されて、グループのメンバが表示可能になります。さらに、特定の Unified Communications オブジェクトを追加または削除してグループ メンバシップを変更することができます。

グループルールは、グループの Unified Communications オブジェクトの追加や削除を反映するように、自動的に変更されます。グループのメンバシップに対する Unified Communications オブジェクトの追加や削除は、Create Group Wizard の [Membership: Create] ページで行います。



(注)

テンプレートを使用してグループを作成した場合は、メンバシップの詳細の表示だけが可能です。グループのメンバシップに対する Unified Communications オブジェクトの追加や削除を [Membership: Create] ページで行うことはできません。

## グループの要約の表示

Create Group Wizard の最後に、新しいグループの定義の要約ページが表示されます。図 9-4 は、[Summary: Create] ページの例です。

図 9-4 [Summary: Create] ページ

| Summary: Create    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Group Name:        | Test                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| Parent Group:      | /COM@item-daily/User Defined Groups                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| Description:       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| Membership Update: | Automatic                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| Rules:             | <pre>INCLUDELIST { # /CS@item-daily/System Defined Groups/Unknown Device Type Group\$/CS@item-daily/System Defined Groups/Unknown Device Type&gt;, # /CS@item-daily/System Defined Groups/Switches and Hubs Group\$/CS@item-daily/System Defined Groups/Switches and Hubs&gt;, # /CS@item-daily/System Defined Groups/Routers Group\$/CS@item-daily/System Defined Groups/Routers&gt; }</pre> |
| Visibility Scope:  | Public                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

表 9-7 は、Group Creation Wizard の [Summary: Create] ページのフィールドの説明です。

表 9-7 グループ要約ページのフィールド

| 見出し/ボタン           | 説明                                                                                                           |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Group Name        | 作成しているグループの名前。                                                                                               |
| Parent Group      | 作成しているグループの親グループ。                                                                                            |
| Description       | グループのテキスト説明。                                                                                                 |
| Membership Update | グループメンバシップのアップデート方法。メンバシップアップデートは自動で実行（グループにアクセスするたびにアップデート）またはユーザの要求時だけ実行（[Refresh] ボタンのクリック時のみアップデート）できます。 |
| Rules             | グループメンバシップのフィルタリングに使用されるルール。                                                                                 |
| Visibility Scope  | すべてのユーザがこのグループを表示できるか、作成したユーザだけが表示できるかを決定する設定。                                                               |

## グループの詳細の表示

グループの情報は、[Properties: Details] ページに表示されます。

- ステップ 1** [Administration] > [Device Management] > [Device Configuration] > [Device Group] を選択します。  
[Group Administration and Configuration] ページが表示されます。

- ステップ 2** Group Selector で詳細を表示するグループを選択します。
- ステップ 3** [Details] をクリックします。
- [Properties: Details] ページが表示されます (図 9-5 を参照してください)。

図 9-5 [Properties: Details] ページ

| Properties: Details                                                                                                                      |                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| Group Name:                                                                                                                              | CallManagers                                                         |
| Parent Group:                                                                                                                            | /OM@item-daily/System Defined Groups/Cisco IP Telephony Applications |
| Type:                                                                                                                                    | MediaServer                                                          |
| Description:                                                                                                                             | Media servers running Cisco CallManager software.                    |
| Membership Update:                                                                                                                       | Automatic                                                            |
| Created By:                                                                                                                              | System : Wed 09-Nov-2005 13:18:25 PST                                |
| Last Modified By:                                                                                                                        | System : Wed 09-Nov-2005 13:18:25 PST                                |
| Rules:                                                                                                                                   | MediaServer.CiscoCallManager.ClassName equals "CiscoCallManager"     |
| Visibility Scope:                                                                                                                        | Public                                                               |
| <input type="button" value="View Parent Rules"/> <input type="button" value="Membership Details"/> <input type="button" value="Cancel"/> |                                                                      |

表 9-8 は、[Properties: Details] ページのフィールドの説明です。

表 9-8 [Properties: Details] ページのフィールド

| 見出し/ボタン           | 説明                                                                                                                 |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Group Name        | 表示しているグループの名前。                                                                                                     |
| Parent Group      | 表示しているグループの親グループ。                                                                                                  |
| Type              | このグループに属する Unified Communications オブジェクトのタイプ。                                                                      |
| Description       | グループのテキスト説明。                                                                                                       |
| Membership Update | グループ メンバシップのアップデート方法。メンバシップ アップデートは自動で実行 (グループにアクセスするたびにアップデート) またはユーザの要求時だけ実行 ([Refresh] ボタンのクリック時のみアップデート) できます。 |
| Created By        | グループの作成者。                                                                                                          |
| Last Modified By  | グループを最後に編集した人。                                                                                                     |
| Rules             | グループ メンバシップのフィルタリングに使用されるルール。                                                                                      |
| Visibility Scope  | すべてのユーザがこのグループを表示できるか、作成したユーザだけが表示できるかを決定する設定。                                                                     |
| View Parent Rules | 親グループのルールを表示するために使用します。<br>親グループのルールはすべてサブグループに適用されます。                                                             |

表 9-8 [Properties: Details] ページのフィールド (続き)

| 見出し/ボタン            | 説明                                                         |
|--------------------|------------------------------------------------------------|
| Membership Details | メンバシップの詳細を表示する場合に使用します。「メンバシップの詳細の表示」(P.9-30) を参照してください。   |
| Cancel             | ページを閉じて、[Group Administration and Configuration] ページに戻ります。 |

## メンバシップの詳細の表示

グループに属している Unified Communications オブジェクトのリストを表示するには、[Membership: Details] ページにアクセスします。

メンバシップの詳細を表示する場合に使用します。

- ステップ 1** [Administration] > [Device Management] > [Device Configuration] > [Device Group] を選択します。  
[Group Administration and Configuration] ページが表示されます。
- ステップ 2** Group Selector で詳細を表示するグループを選択します。
- ステップ 3** [Details] をクリックします。  
[Properties: Details] ページが表示されます。
- ステップ 4** [Membership Details] をクリックします。  
[Membership: Details] ページが表示されます。  
図 9-6 は、[Membership: Details] ページの例です。

図 9-6 [Membership: Details] ページ



表 9-9 は、[Membership: Details] ページのフィールドの説明です。

表 9-9 [Membership: Details] ページのフィールド

| 見出し/ボタン          | 説明                                                         |
|------------------|------------------------------------------------------------|
| Name             | メンバシップの詳細を表示するために選択されたデバイスの名前。                             |
| Object Type      | 詳細を表示するために選択されたオブジェクトのタイプ。                                 |
| Property Details | [Properties: Details] ページに戻ります。                            |
| Cancel           | ページを閉じて、[Group Administration and Configuration] ページに戻ります。 |



(注)

カスタマーグループを選択し、メンバシップの詳細を選択すると、そのカスタマーに属するすべてのデバイスが表示されます。

## メンバシップのリフレッシュ

グループのメンバシップをリフレッシュすると、グループのメンバシップが強制的に再計算されます。具体的には、グループのルールが再評価され、メンバシップ情報がデータ コレクタから取得されます。ポート グループとインターフェイス グループはポーリングとしきい値のためだけに使用されるため、これらのグループではメンバシップの一覧表示がサポートされていません。

メンバシップを更新するには、次の手順に従います。

- 
- ステップ 1** [Administration] > [Device Management] > [Device Configuration] > [Device Group] を選択します。  
[Group Administration and Configuration] ページが表示されます。
  - ステップ 2** Group Selector でリフレッシュするグループを選択します。
  - ステップ 3** [Refresh] をクリックします。
  - ステップ 4** 確認のダイアログボックスで [Yes] をクリックします。次のダイアログボックスで [OK] をクリックします。
- 

## ユーザ定義グループの削除

ユーザ定義グループだけを削除できます。これには、作成したアクセス ポート グループ、インターフェイス グループ、またはトランク ポート グループも含まれます。Access Port Groups、Interface Groups、または Trunk Port Groups の各フォルダを削除できません。

グループを削除するには、次の手順に従います。

- 
- ステップ 1** [Administration] > [Device Management] > [Device Configuration] > [Device Group] を選択します。  
[Group Administration and Configuration] ページが表示されます。
  - ステップ 2** Group Selector で、削除するグループを選択します。
  - ステップ 3** [Delete] をクリックします。
  - ステップ 4** 確認のダイアログボックスで [Yes] をクリックします。次のダイアログボックスで [OK] をクリックします。
- 



**(注)** [Edit]、[Refresh]、または [Delete] をクリックすると、内部プロセスが起動します。そのため、これらのプロセスがトリガーされた後、一定期間、Prime UOM で CPU 使用率が高くなることがあります。

---